

令和8年度 登録販売者生涯学習研修確認テスト
A-第2講座『医薬品における酒（アルコール）の役割』



問1. 薬機法第2条第1項における「医薬品」の定義として、誤っているものは

- ① 身体の構造または機能に影響を及ぼすことが目的とされているもの（機械器具等を除く）
- ② 製造販売をしようとする者が、医薬品としての製造販売について、厚生労働大臣の承認を受けたもの
- ③ 日本薬局方に収められているもの
- ④ 人又は動物の疾病の診断、治療又は予防に使用されることが目的とされているもの（機械器具等を除く）

問2. 食品の機能性表示について正しいのは

- ① 食品は全て機能性を表示できる
- ② トクホは審査を受けて表示について国（消費者庁長官）許可を得る必要がある
- ③ 機能性表示食品は審査を受けて表示について国（消費者庁長官）の許可を得る必要がある

問3. 日本薬局方は、運用上何年ごとに改正されますか

- ① 10年 ② 1年 ③ 5年 ④ 3年

問4. 「生薬をエタノール又はエタノールと精製水の混液で浸出して製した液状の製剤」は

- ① 酒精剤 ② 浸剤 ③ 流エキス剤 ④ チンキ剤

問5. 厚生労働省通知により食品として扱う成分本質について「生薬名」を付してはいけない理由は何ですか

- ① 特許法によって使用が制限されているため
- ② 食品はすべて加熱処理が必要だから
- ③ 「生薬」という言葉自体が医薬品的効能効果を連想させるため
- ④ 「生薬」は漢字表記ではなければならないから

問6. 事業者の責任において科学的根拠に基づいた機能性を表示し販売前に消費者庁長官へ届出食品は何ですか

- ① 特定保健用食品 ② 医薬部外品 ③ 栄養機能食品 ④ 機能性表示食品

問7. 薬酒の特徴としてアルコールの作用による利点はどれですか？

- ① 成分を水よりゆっくりと穏やかに抽出できる
- ② 成分の分子量を小さくして吸収を遅らせる
- ③ 血行促進作用により、薬効成分が体内に行き渡りやすくなる
- ④ 薬効成分の毒性を完全に無毒化できる

問8. 薬酒の保存性について正しい記述はどれですか

- ① エタノールが微生物の繁殖を抑えるため長期間品質が安定しやすい
- ② 開封後に成分が揮発するため1週間以内に飲み切る必要がある。
- ③ アルコールの作用で時間がたつほど成分が分解され薬効がなくなる。
- ④ 保存料を大量に転嫁しないとアルコールが腐敗する。

問9. 養命酒の効能効果に含まれるものは？

- ① 冷え症 ② 感染症 ③ 精力増強 ④ 解熱鎮痛

問10. 薬酒にはエタノールが含有しているが注意しなければいけないことはどれか？

- ① 乗物又は機械類の運転操作 ② 空腹時の服用 ③ 服用前後の喫煙 ④ 長期間の服用